

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和4年 6月 16日

公表: 令和4年 7月 1日

事業所名 チャイルドウィッシュ真伝

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		法令を遵守したスペースを確保したうえで、空間を最大限活用して支援をしています。	
	2	職員の配置数は適切である	7		法令で必要とされている職員配置に加え、指導員又は児童指導員を1名以上配置(常勤換算算定)にてしています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	3	医療ケア児がいないため、今は階段に手すりのみとなっています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7			職員会議や日々の職員間で共有や話し合いをすすめる事が出来ています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			保護者様向けの評価表によるアンケートを活用し、業務改善やニーズにあった支援内容に繋げています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			ホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4		同法人の他事業所間で内部監査を行い、業務改善に努めています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			毎月研修会があり、日々の業務でのフィードバック等を行っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			チームプレイが整いつつあるが、まだ職員間のコミュニケーションが不足気味に見える様子もある為、朝礼での綿密な共有や書面化を考えています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1		日々毎に学習課題や巧緻性を向上させる課題やタブレット学習を用意したり、レクリエーションや事業所内の活動の中でプログラムが固定化しないように、計画書を基にしてお子様一人一人の様々な角度から支援をしていく事を目標としています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			

関係機関や保護者との連携	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			常勤・非常勤職員の中で明確に役割分担をし、より良い支援に繋げていく事を目標としています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			支援終了後、送迎の無い職員間で振り返りを行います。その後常勤職員で再度振り返りを行う体制を整えています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			職員の主観ではなく計画書に添った支援内容を客観的に記録するように努めています。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			毎月の月間連絡帳や送迎時での話を通じて計画書の内容のモニタリングをし必要に応じて計画の見直しに努めています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	1		決まった職員だけでなく全員が参加出来るようにしていきたいと思っています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			サービス担当者会議が開催されていません。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			学校によっては情報共有が少ない学校もあるので、今後電話をする事や送迎時等で深めていきたいと思っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	2		今は医療ケア児がいないので、受け入れた場合は連携の取れる体制を整えていきたいと考えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	4		保護者を通じて情報提供をお願いしていますが、今後はより相互理解に深めていかなくてはと考えています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	3		対象となる児童がまだいないですが、今後そのような事がある時には情報提供を出来るようにしたいと思います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	5		通信を通し、視覚学習支援センターで学んだことを日々の療育活動の中に取り入れたり、指示を仰いでいます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7		コロナウイルスが流行しているため、交流が難しいですが、今後機会があれば交流していきたいと思っています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	6		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			送迎時に母親とは共通理解を深めていますが、父親にお会いする機会が少ないので、今後家族会等企画し、お会いする機会を増やしていきたいと考えています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6			懇談会等で実施しています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			契約時にご説明をすると共に事業所内で重要書類を提示して行っています。

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			送迎時や懇談会にも相談に応じていますが、ママ会などの保護者様が参加出来る会を企画し、子育ての不安を軽減していきたいと思っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	3		仕事などで会に参加出来ない保護者様に対するの対応を考え、全員参加出来る様に努めていきたいと考えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			過去の苦情に関しても職員間で情報共有し、職員のスキルアップに繋げていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			様々な制度や福祉事業所などについて今後も会報を通して伝えていくように、職員全体が知識を深めなくてはならないと考えています。
	35	個人情報に十分注意している	7			書庫数に限りがある為、今後増やしていかなくてはと思います。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			手話などの意思伝達方法の取得を事業所全体で取り扱っていきたくと考えています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	5		ご近所にあるセンターの方との情報の共有をしています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1		残念ながら保護者様に周知徹底とまでは至っていない現状である為、今後マニュアルを再整備し周知徹底していきたいと思っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1		火災災害以外にも変質者対策なども今後取り入れていく必要があると考えています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		朝礼時等に、どのような行為が虐待に当たるのかを教えています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6			重要事項説明書に記載があり、計画書にも記載しています。職員間での周知徹底もしていきたいと考えています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			食物ではなく、砂等のアレルギーのあるお子様が利用をしているため、保護者と情報共有をした上で対応をしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			ファイリングはしてありますが、読む事が出来ていないので周知徹底していきたいと思っています。